

### 3 建築計画について



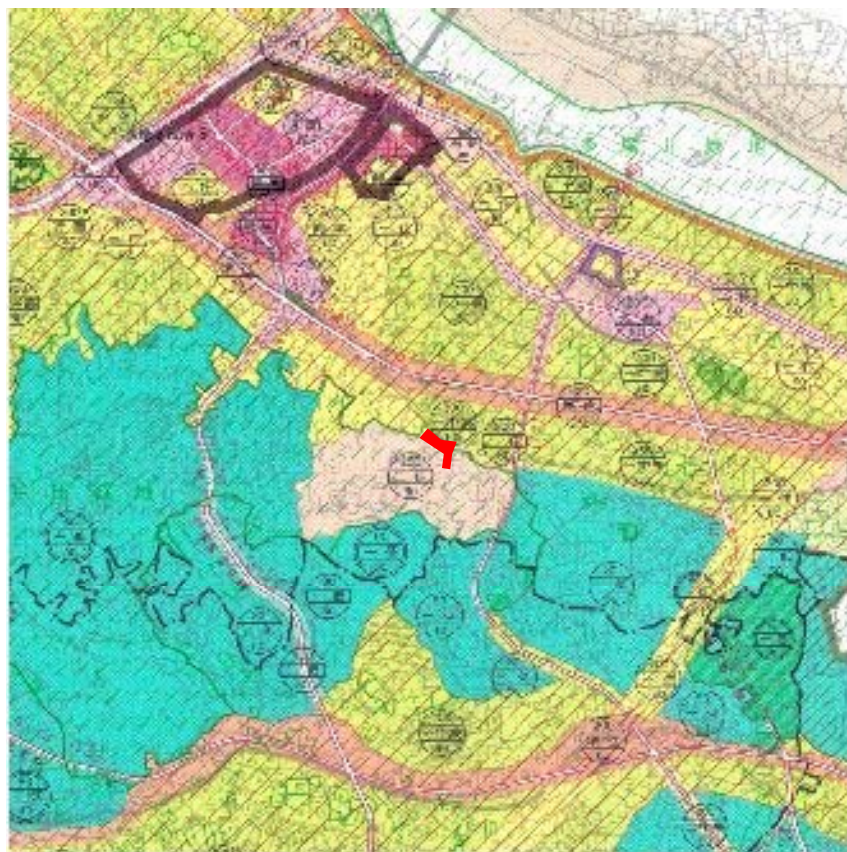
### 3 建築計画について

#### (1) 計画概要

|   |        |                     |
|---|--------|---------------------|
| ア | 建築名称   | (仮称) 藤子・F・不二雄ミュージアム |
| イ | 計画地    | 川崎市多摩区長尾2丁目1271番1 他 |
| ウ | 地域・地区  | 第二種住居地域             |
| エ | 主要用途   | 美術館                 |
| オ | 法定建ぺい率 | 60%                 |
| カ | 法定容積率  | 200%                |
| キ | 高度規制   | 第3種高度地区(20m)        |
| ク | 日影規制   | 4時間 2.5時間           |
| ケ | 敷地面積   | 約5,000㎡             |

#### (2) 建築概要 ※現時点での想定

|   |      |           |
|---|------|-----------|
| ア | 建築面積 | 1,900㎡    |
| イ | 延床面積 | 3,300㎡    |
| ウ | 建ぺい率 | 38%       |
| エ | 容積率  | 66%       |
| オ | 階数   | 3階        |
| カ | 最高高さ | 16m       |
| キ | 構造   | 鉄筋コンクリート造 |



(3) 敷地写真



 : 敷地範囲イメージ





#### (4) 全体配置

##### ア 地形から生じる形

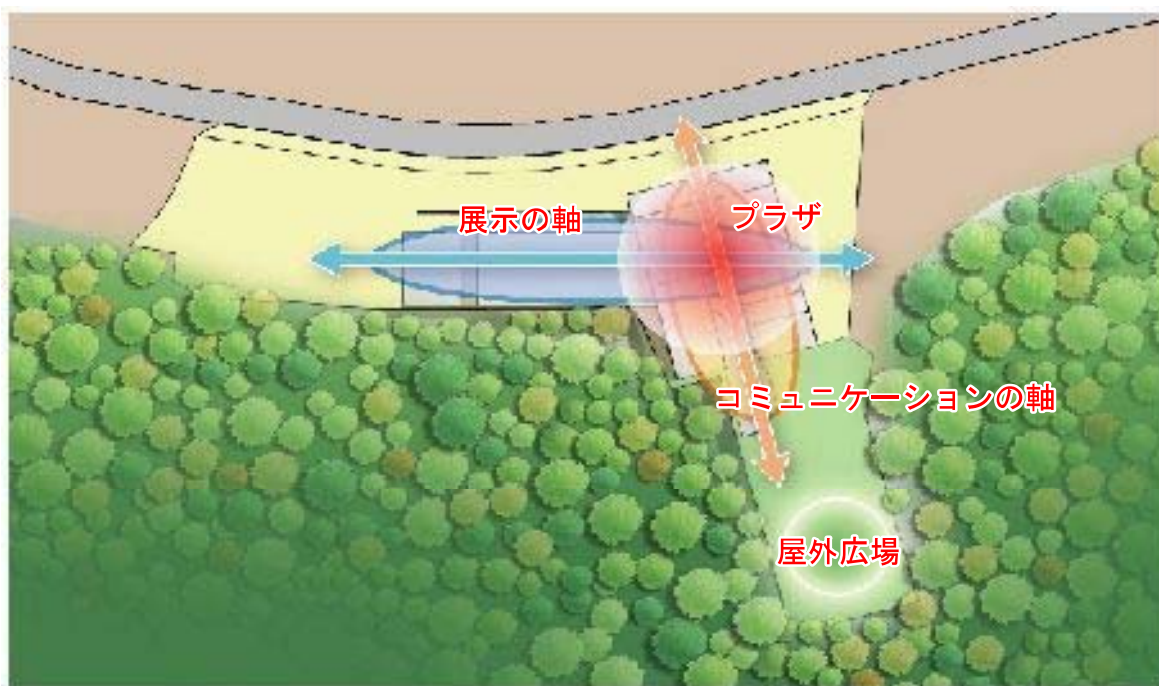
周辺の地形に沿った平面配置及び断面計画によって建築の全体配置計画を策定します。

##### イ 展示の軸×コミュニケーションの軸

展示の軸とコミュニケーションの軸を設定し、両者の交差点に“体験の中心”となるプラザを設置します。

##### ウ 意匠や効率を重視した空間配置

展示のつながりを重視し、意匠的かつ効率的な空間配置を検討します。



## (5) ランドスケープ

### **ア 建築・環境の一体化する風景**

「山→広場→建築」の流れを大切にし、建築と自然豊かな緑地を一体化する風景を創出します。

### **イ 外部空間づくり**

ミュージアムへのアクセス空間に緑化などの建築手法を用いミュージアムにアプローチしながら、日常世界からまんがの世界へ雰囲気徐徐に転換していく工夫をします。

## (6) 環境計画

### **ア 豊かな自然環境を建築空間に取り込むデザイン**

(7) 周辺に広がる緑地との連続性を大切にします。

(イ) 建築物の緑化について検討します。

(ウ) 風（自然通風）を取り込む工夫を検討します。

(エ) 自然に優しい太陽光の活用を検討します。

### **イ 水に関わる環境演出**

ミスト（霧）、水などを活用し、快適さを感じられるような演出の検討を行います。

### **ウ 自然エネルギーの利用**

省エネルギーに配慮し、太陽光など自然エネルギーの活用も検討します。



## (7) 建築に求められる施設機能の考え方

### ア 空間構成

#### (7) 高い可変性を持つ展示空間

展示・体験の内容に合わせることができる可動式の間仕切りにより、展示効果及び体験の楽しさを高めながら、展示内容の変更やイベントの開催などに対応できる高い可変性を備えます。

#### (4) 感動を与える空間構成

自然の環境要素や屋外広場を展示動線に組み込み、美しい自然風景と柔らかい自然光を、建物に採り入れます。展示室に入り、しだいに奥へ進み、最後に屋外広場にたどり着く感動を醸し出せる、深さのある空間構成とします。

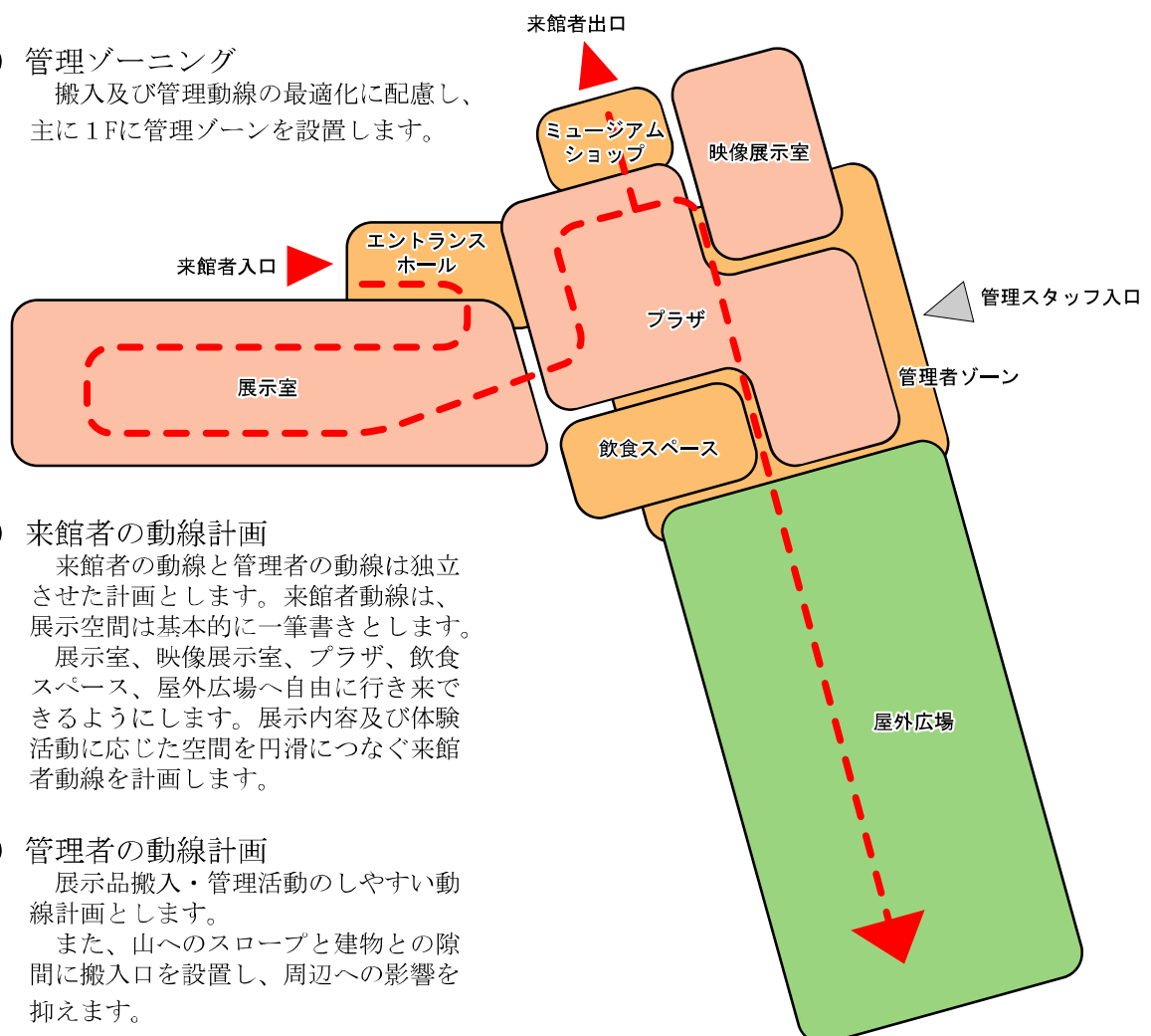
### イ ゾーニング及び動線計画

#### (7) 来館者ゾーニング

エントランスから入り1階、2階を通り楽しい体験が出来る展示空間と山側の屋外広場に向かう空間構成に基づいた来館者ゾーニングとします。

#### (4) 管理ゾーニング

搬入及び管理動線の最適化に配慮し、主に1Fに管理ゾーンを設置します。



#### (7) 来館者の動線計画

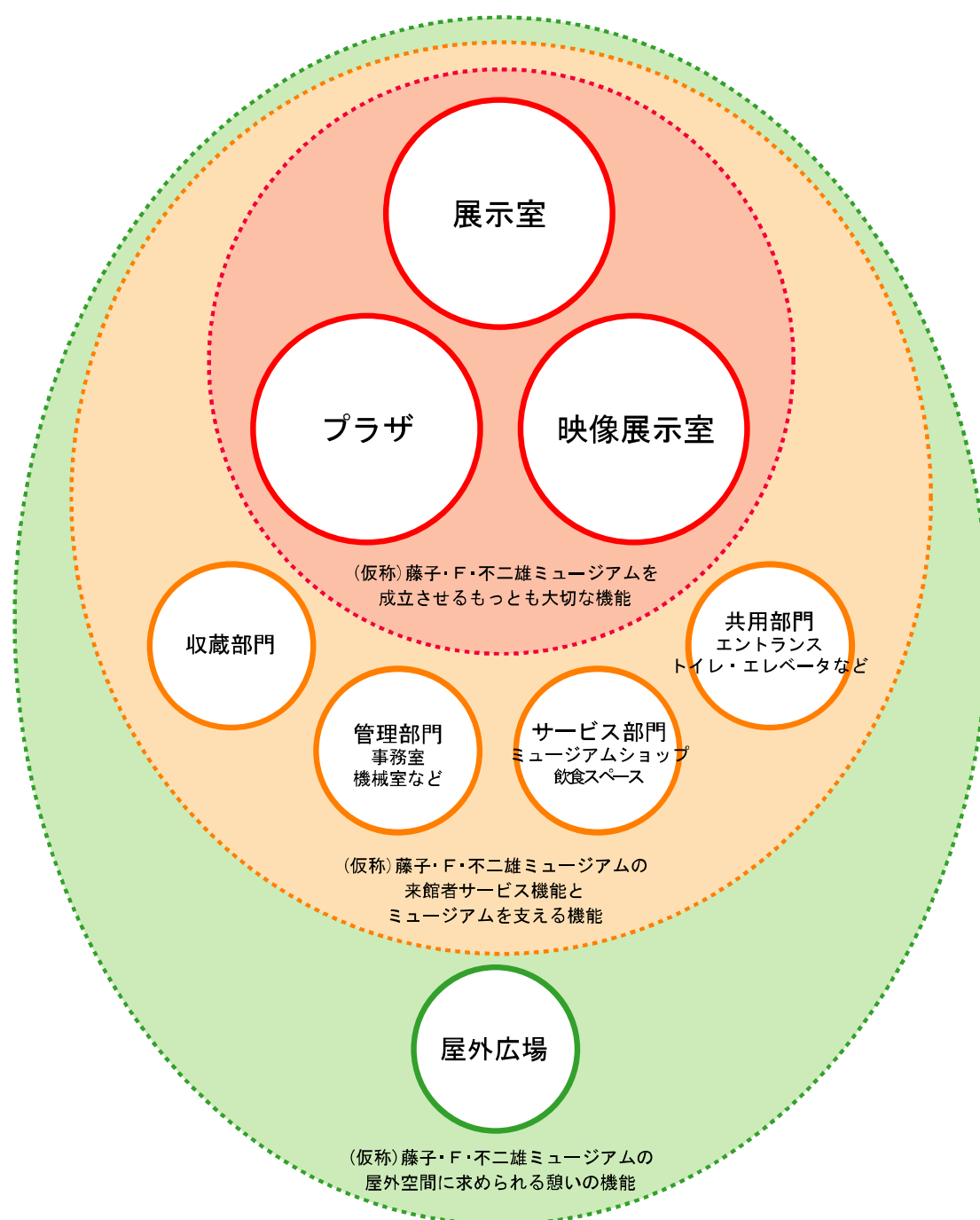
来館者の動線と管理者の動線は独立させた計画とします。来館者動線は、展示空間は基本的に一筆書きとします。展示室、映像展示室、プラザ、飲食スペース、屋外広場へ自由に行き来できるようにします。展示内容及び体験活動に応じた空間を円滑につなぐ来館者動線を計画します。

#### (4) 管理者の動線計画

展示品搬入・管理活動のしやすい動線計画とします。

また、山へのスロープと建物との隙間に搬入口を設置し、周辺への影響を抑えます。

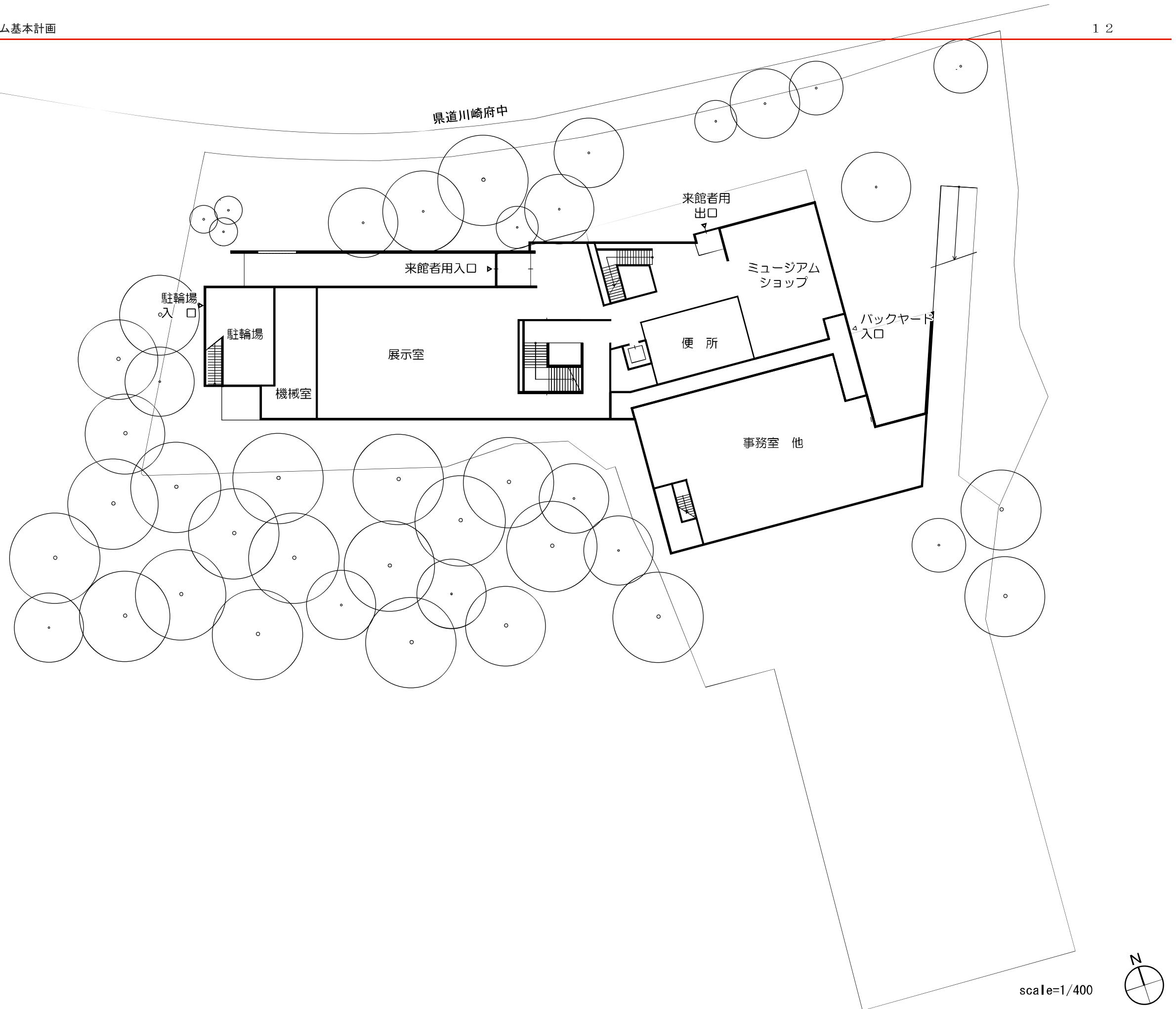
(8) 施設機能構成概念図





(9) 設計図面

ア 1階平面図

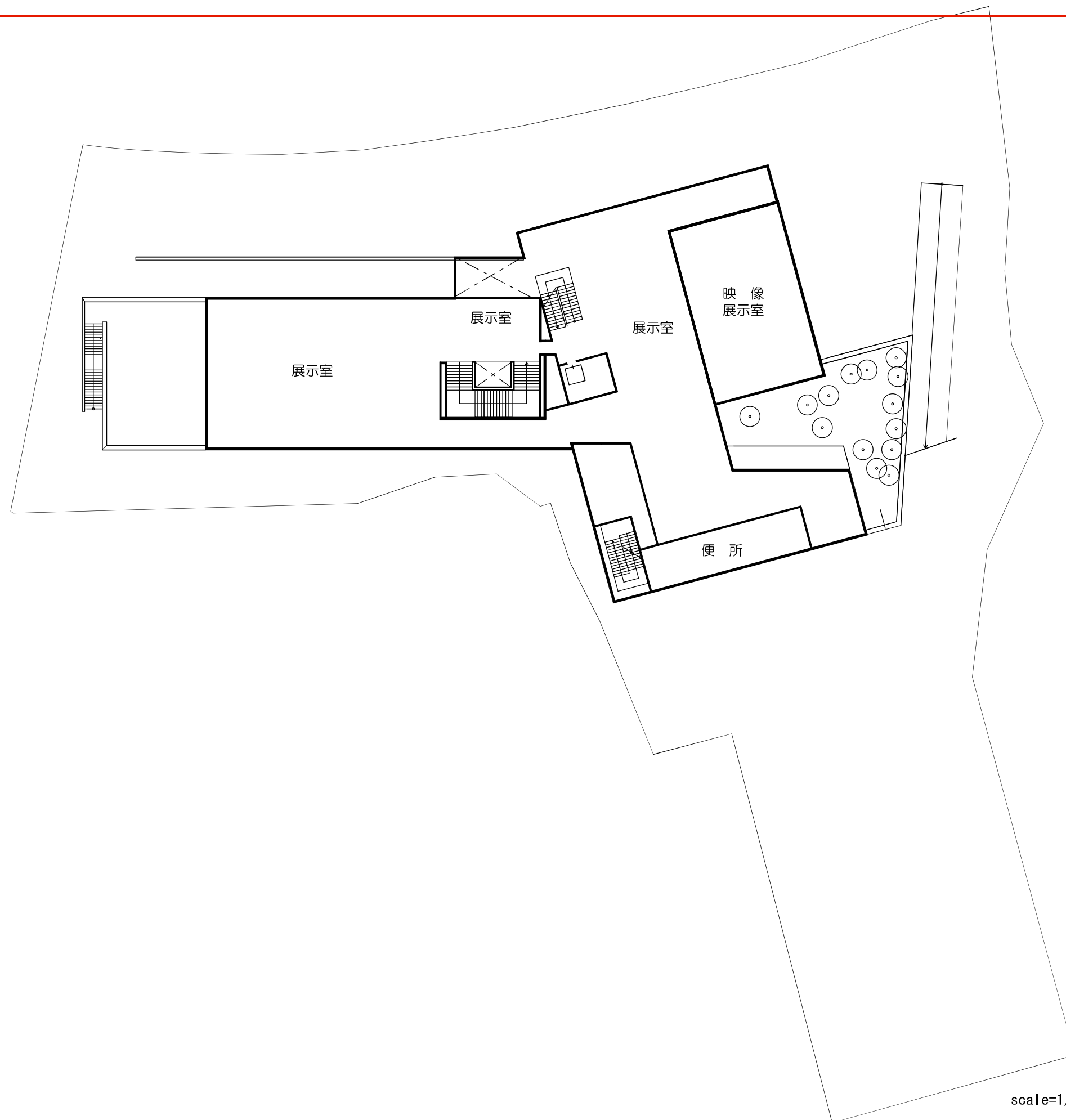






(9) 設計図面

イ 2階平面図



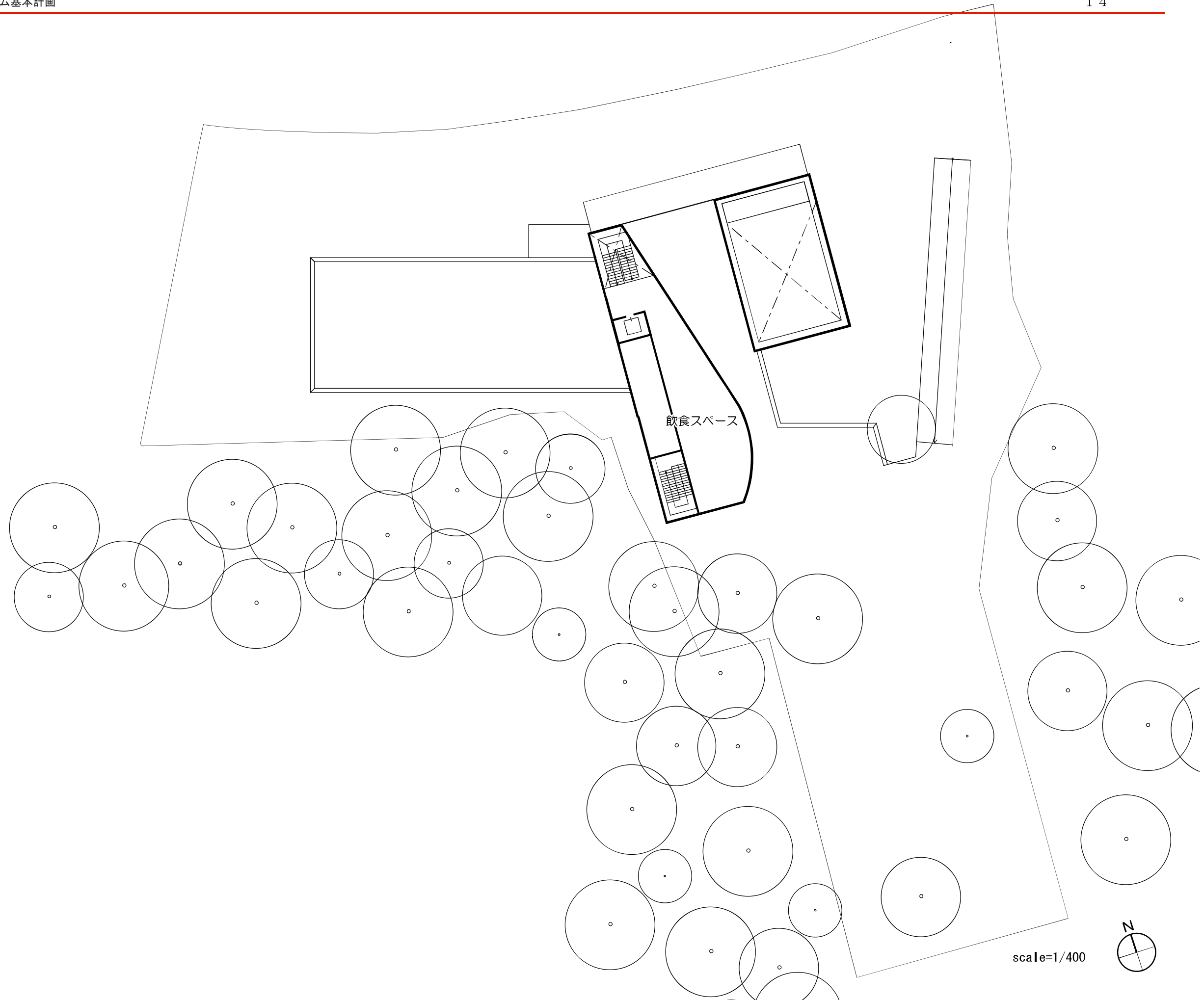
scale=1/400





(9) 設計図面

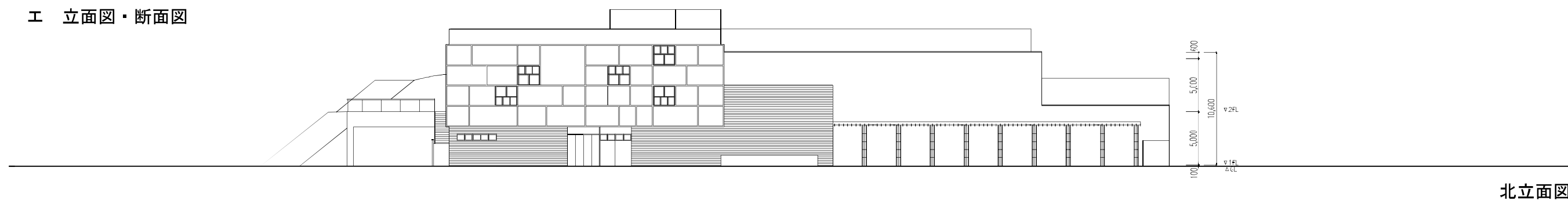
ウ 3階平面図



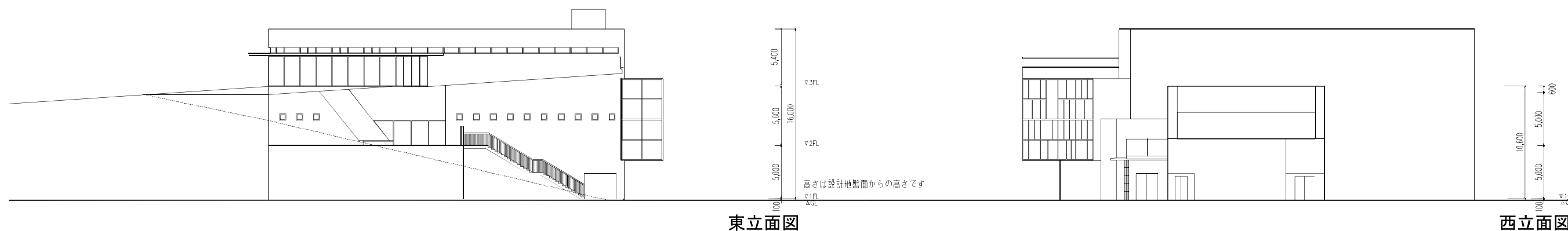


(9) 設計図面

エ 立面図・断面図

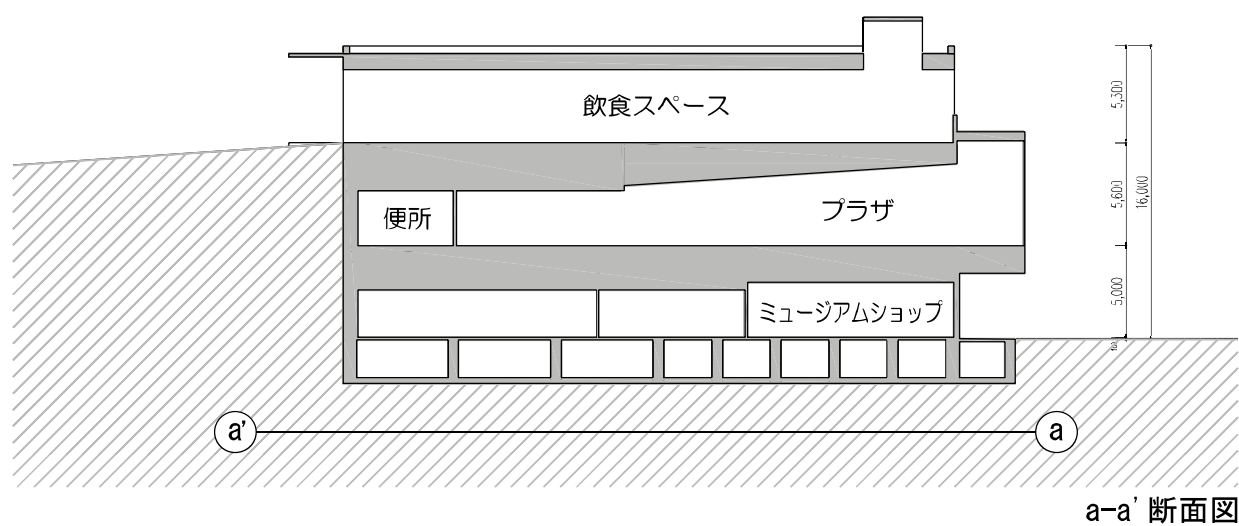


北立面図

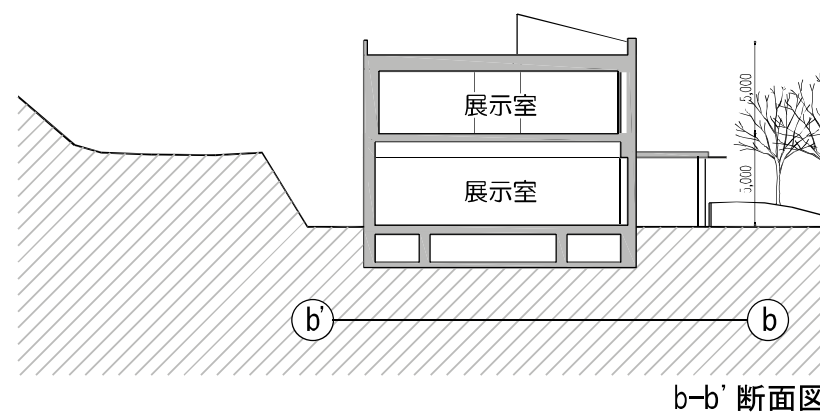


東立面図

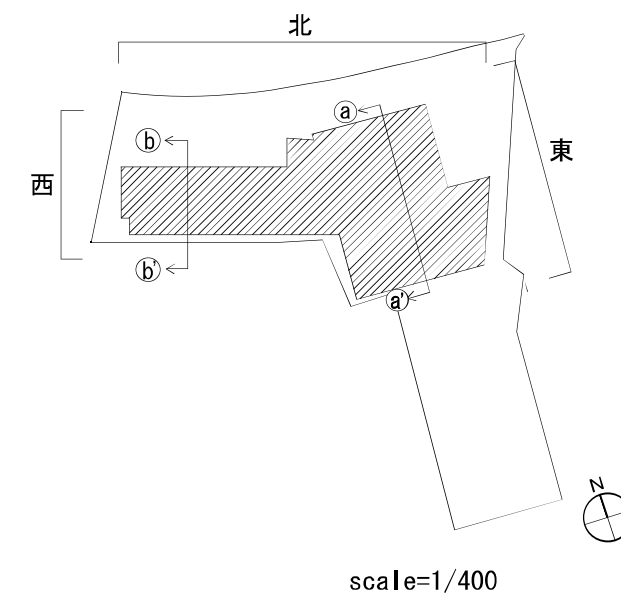
西立面図



a-a' 断面図



b-b' 断面図



scale=1/400

## (10) 施設機能構成面積表

ミュージアムの機能や活動内容を踏まえ、望ましい施設規模を以下の通り想定します。

| 部 門     | 室 名                                             | 面 積    | 面 積 比 |
|---------|-------------------------------------------------|--------|-------|
| 展示部門    | 展示室                                             | 920㎡   | 27.9% |
| 交流部門    | プラザ<br>映像展示室                                    | 650㎡   | 19.7% |
| サービス部門  | 飲食スペース<br>ミュージアムショップ                            | 260㎡   | 7.9%  |
| 収蔵・管理部門 | 一般収蔵庫<br>特別収蔵庫<br>荷受・荷解室<br>事務室<br>その他          | 950㎡   | 28.8% |
| 共用部門    | エントランス<br>受付<br>共用通路・階段等<br>エレベータ<br>トイレ<br>その他 | 520㎡   | 15.8% |
| 合計      |                                                 | 3,300㎡ | 100%  |